

事業概要【小中学校AIドリル教材ソフト導入事業】

自治体名	愛知県半田市	人口	117,272人	事業費	34,897千円
事業概要	GIGAスクール構想を受け、半田市は、令和2年度より全児童生徒1人1台端末を配備した授業を展開し、学習への積極的な参加や問題解決能力の向上など、一定の成果を上げている。 現在の学校教育は、ICTを活用した一人ひとりの子どもを主語とする個別最適な学校教育の実現が必要で、これを阻害する、これまでの日本型学校教育（学習機会と学力の保障や全人的な発達・成長の保障等を実現するため、教師主導の一斉教授）からの脱却は急務となっている。 AIドリル教材ソフトは、個別最適な学校教育に必要な、一人ひとりの学力や個性にあった学びを提供できるツールとして、子どもたちの得意・不得意を可視化し補足的・発展的な学習につなげられるものとして利活用を計画している。				
具体サービス	【AIドリル教材ソフト導入】 - 学習者の個々の進捗度合・理解度に応じた問題提供や、誤答した際のAIによる分析を用いて再度問題提示することにより、一人ひとりにあった効率的な学習を可能にする。 - 教員が一人ひとりの学習傾向や取り組み状況、意欲関心などを把握でき、そのデータを個別の指導や授業づくりに活用できる。 - 子どもの理解状況等を可視化し、学校及び家庭におけるコミュニケーションを図ることによって、主体的な学びを促進する。	<pre>graph TD; A[AIドリル提供業者] --> B[半田市教育委員会]; B --> C[教員・各小中学校]; C --> D[授業で活用]; C --> E[帯学習で活用]; C --> F[家庭で活用];</pre> ・導入、導入後のフォロー ・使用方法の研修会 授業で活用 ・学年を横断したドリル学習 帯学習で活用 ・学校、家庭での平等な学習機会提供 ・使用方法の研修会 家庭で活用 ・学習状況、理解度合いの把握 ・家庭内での学習状況におけるコミュニケーション			
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①月の利用率を70%以上とする ②週の利用率を30%以上とする	【アウトカム指標（成果指標）】 ①全国学力・学習状況調査の正答率が実装前の半田市平均を超える ②児童生徒、保護者、教員の満足度			